

管内名	球磨	学校名	山江村立山田小学校
-----	----	-----	-----------

1 学力向上に向けた学校全体としての取組

(1) 研究指定校としての取組

本校は、平成 17・18・19 年度の 3 年間、文部科学省「学力向上拠点形成事業」の研究指定を受け、学力向上を目指した取組を行ってきた。

「確かな学力」の育成に向けて、3 年間一貫して目指してきたことは、授業力の向上である。研究 1 年次の平成 17 年度は、「ねらいを明確にした授業づくり」を中心に、全教科での実践を行ってきた。また、他校の研究実践に学ぶため、先進校研究発表会や研修会等に参加し(年間 20 回)、全職員へ復講することで研修を深め、研究の基礎づくりを行った。

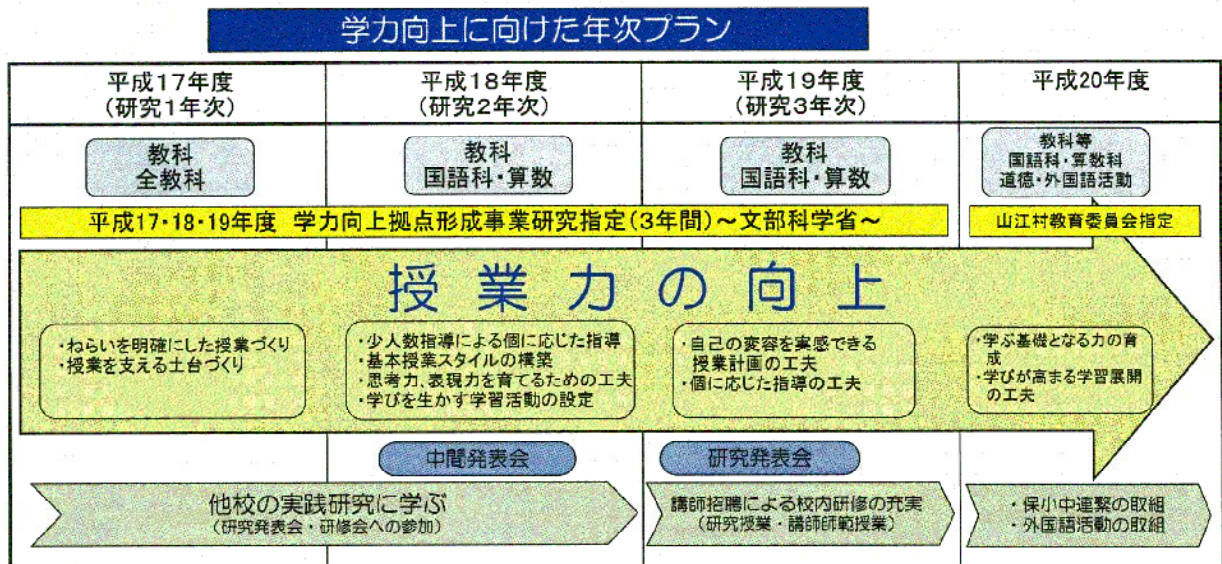
研究 2 年次は、少人数指導を中心とした個に応じた指導、基本的な授業の流れなど、本校の独自性を追求しつつ、本校の課題である意欲、思考力、表現力の育成に向けた取組を始めた。本校児童の実態から教科を国語科と算数科に絞って研究を進めた。

研究 3 年次は、3 年間の集大成として「自己の変容を実感できる授業計画の工夫」「個に応じた指導の工夫」に焦点を絞り、授業力の向上を目指した取組を行った。

また、校内研修に外部講師を招聘し、本校の研究実践に対して第三者の立場から指導・助言していただく機会を設けた。

文部科学省の研究指定が終わった平成 20 年度は、これまでの研究を受け継ぎながら、さらに山江村教育委員会の研究指定を受け、村内の保育園、小中学校が連携した取組を行っている。

資料 1 は、学力向上へ向けた年次プランである。



資料 1 【学力向上へ向けた年次プラン】

(2) 少人数指導及びTTによる複数指導体制の構築

本校は児童数 199 名、9 学級（特別支援学級 1 含む）である。平成 13 年度から少人数指導加配が配置されている。本年度においても、全学級が少人数指導または教務主任等による TT の複数体制指導を行い、個に応じた指導体制づくりを行っている。

また、毎週火曜日の始業前の時間（8：20～8：35）には、校長、教頭、担任外を含め、基礎・基本の習得を目指した個別指導を行い、複数体制での指導を行っている。

(3) 学力充実の時間の確保

本校では、学力充実（のびっこチャレンジ）の時間は、国語の「書くこと」及び算数の「数学的な考え方」における思考力、表現力の育成を目的に、年間15時間を設定している。

これは、職員一人一人がゆうチャレンジ問題等を参考に思考力・表現力を問う問題を独自に作成し、児童が自分の考えを文章や絵、図、数直線、表などを用いて表現する学習を通して、思考力・表現力を身に付けるための取組である。

全学級が同一日の同一時間に学力充実に取り組むことにより、身に付けた知識をどのくらい活用することができるのか、自己評価もしている。